

<p>1. 山田 忠晴 (公明党)</p>	<p>1. 第6次総合計画の3つの重点戦略における平成30年度の取組について</p> <p>(1) 重点戦略の産業や交流分野における平成30年度の取組の成果としての、上越妙高駅周辺の企業誘致や重要港湾である直江津港の物流促進、水族博物館うみがたり開館による直江津地域の集客、開会まで1年を切った東京オリンピック・パラリンピックの市民の盛り上がりの現状をどう分析しているのか。また、今後どのように進展していくと見通しているのか。</p> <p>2. 平成30年度における行政改革の取組の総括について</p> <p>(1) 平成30年度に取り組んだ、第6次上越市行政改革推進計画の策定、第三セクター等に対する市の関与方針の策定及び公の施設の再配置の取組等において、最も時間を要した課題や問題点をお聞きしたい。また、今後の見通しはとてもしんどいものであると思うが、策定の中でどのように考えたか。</p> <p>3. 議案第99号 平成30年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 合併後初めて1千億円を下回った平成30年度一般会計当初予算に対し、歳出決算額は980億円であり、主要な歳入である市税及び地方交付税は合わせて約527億円、財政調整基金残高は104億円であった。この決算額を踏まえ、財政健全化を見据えた今後の財政見通しをどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 平成30年度に「中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定し、中小企業支援に取り組んだが、中小企業数の減少や人手不足の深刻化という現状の中で、平成30年度の中小企業施策をどう推進してきたか。また、その取組を通して、市内中小企業を巡る課題・問題点や、今後の見通しをどう捉えるか。</p> <p>(3) 北陸新幹線や水族博物館うみがたりの効果もあり、インバウンドも含め観光客や交流客も増え続けたと考えるが、平成30年度の観光施策を実施する中で、更なる誘客増を目指すに当たっての強み・弱みをどのように総括したか。また、観光振興のため、今後重点的に取り組むべきと具体的に考えている施策があればお聞きしたい。</p> <p>4. 議案第115号 令和元年度上越市一般会計補正予算(第3号)について</p> <p>(1) 令和2年1月供用予定である(仮称)上越市体操アリーナ(上越市立上越体操場)の今年度末までの管理委託料として360万円が計上された。今回補正予算を計上するに当たり、来年度の管理委託の在り方や年間の管理委託料の見通しをどう考えたか。また、現時点で既に予定されている合宿誘致や大会開催について聞きたい。</p>
---------------------------	---

<p>2. 牧田 正樹 (市民クラブ)</p>	<p>1. 議案第99号 平成30年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 2款1項3目広報広聴費における市民対話事業について、キャッチボールトークを3会場、ミニ対話集会を15会場で実施している。出された意見等をどのように市政に活かしてきたか。また、「市民の声を聴くポスト」にはどういった声が寄せられたか。</p> <p>(2) 2款1項7目企画費における新幹線整備促進費について、これまで新駅周辺の土地利用については「上越市新幹線駅周辺地区商業地域土地利用促進協議会」の活動支援などを通して約9割の土地で利用決定または利用検討中となり、商業施設の整備・開業が進んだとしている。これらの取組を、土地利用方針に位置付けた「質の高い新都市空間の形成」という視点でどう評価しているか。また、協議会については所期の目的を達したとして令和元年5月をもって解散したが、今後の土地利用の促進、「質の高い新都市空間の形成」に向けてどのように取り組んでいく方針か。</p> <p>2. 議案第122号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について</p> <p>(1) 新たに創設される会計年度任用職員の制度は、同一労働同一賃金の観点から、正規職員との「均衡・均等待遇」の実現に向けたものと考えているか。</p> <p>3. 議案第126号 上越市印鑑条例の一部改正について</p> <p>(1) 本条例の一部改正は、住民基本台帳法施行令の一部改正により、求めに応じて住民票に旧氏の記載ができるようになることを受けてのものとなるが、この一部改正の背景と改正後の効果について聞きたい。</p>
-----------------------------	---

<p>3. 滝沢 一成 (輝)</p>	<p>1. 議案第99号 平成30年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 上越市は財政改革を計画的に進めているところであり、財政指標をみても根本的問題はないと理解する。一方、近年地方自治体の多くが財政運営では厳しさを増しており、上越市も例外ではない。一般論的であるが、財政運営の縮小は財政支出を先送りすることにもつながり、将来の歳出圧力が高まっていくとも考えられ、潜在的に財政悪化が進んでいく可能性がある。上越市としては、そういった可能性をどう見通しているか。</p> <p>2. 第6次総合計画の交流戦略における平成30年度の実施について</p> <p>(1) 新水族博物館を核とした地域活性化について、オープン記念イベントや当市の魅力発信に取り組んだとある。新水族博物館の設置目的としている地元経済への波及効果はどのようなものがあったか。</p> <p>(2) 市内在住の外国人の方々から観光資源の魅力を SNS で発信してもらうなど、外国人旅行者の誘客促進に取り組み、また佐渡市と連携してインバウンド需要への対応に取り組んだとある。どのような効果があったか聞きたい。</p> <p>(3) 市内の多様な観光資源をめぐるモニターツアーを実施し、地域の皆さんが資源の魅力を伝え、旅の付加価値を高めていく効果を検証したとあるが、どのようなことがわかったか。</p> <p>3. まち・ひと・しごと創生総合戦略における平成30年度の実施について</p> <p>(1) 「結婚・出産・子育て」の分野において、子育て世帯への経済的負担軽減や教育環境の改善などの施策を推進してきたとあるが、出生率などにおいてどのような効果があったか。</p>
-------------------------	--

<p>4. 宮川 大樹 (みらい)</p>	<p>1. 議案第99号 平成30年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 平成30年度の収入未済額は、一般会計で1.3%減の14億1,789万円、全会計総額では3.7%減ではあるが、24億2,583万円となった。収納業務にて15人いる納入促進員が1万359件、額にして約3億7,500万円の実績を上げ、減額させていることは評価できるが、依然として多額の未済額が発生している。平成30年度の未済額発生の要因は何か。また、滞納金納入の抜本的な改革として新たな対応策はあるのか。</p> <p>(2) 財政構造の弾力性の判断基準となる経常収支比率は、前年度の94.0%から、0.7%悪化し、94.7%となった。実情は理解するが、これ以上の悪化は避けなければいけないと考えるが、どのような方策を考えているか聞きたい。</p> <p>(3) 第6次総合計画の重点戦略「交流」における「新水族博物館を核とした地域活性化」について、水族博物館うみがたりが昨年6月にグランドオープンし、平成30年度の約9か月間で予定を大幅に超える73万人の来場者になったところであるが、直江津中心市街地に対してどのような成果が得られたか。また、今後どのように取組を進めるか。</p> <p>2. 議案第115号 令和元年度上越市一般会計補正予算(第3号)について</p> <p>(1) 財政調整基金について、財政計画上では今年度末の財政調整基金残高は約100億9,500万円となっているのに対し、本補正にて約110億7,700万円となると見込まれている。結果として、改定された財政計画の最終年度末における財政調整基金残高、及び実質的な収支差引額はどの程度の見込みになるか。</p>
---------------------------	---

<p>5. 橋爪 法一 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 主要事業の成果及び行政改革の取組について</p> <p>(1) 新水族博物館「うみがたり」のオープンに伴い、「新たなシンボルを核とした、地域の賑わいづくりや市内の回遊性向上など、まちの魅力向上と活性化に向けた、官民挙げての新たな取組も緒についた」としているが、具体的な内容について聞きたい。</p> <p>(2) 「第5次行政改革大綱等が最終年度を迎えたことから、これまでの施策や取組を総括」とあるが、具体的にはどのように総括しているか。特に、「関係者への丁寧な説明と納得を得ながら進める」点でどうであったか聞きたい。</p> <p>2. 議案第99号 平成30年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 2款1項1目一般管理費中、職員福利厚生費における、「ストレスチェックの実施」について、委員会資料では、高ストレス判定の割合が受検者の10.2%、295人となり、2年連続で高ストレス判定の割合も人数も増えている。なぜこうした結果になるのか聞きたい。また、対策はこれまでより強化されたかもあわせて聞きたい。</p> <p>(2) 3款1項1目社会福祉総務費中、要援護世帯除雪費助成事業について、平成30年度目標は、「親族要件の廃止や助成対象となる除雪範囲の見直し後の実績等を検証し、助成限度額等の見直しについて検討を行う」としてきたが、検討は終わっていない。なぜ検討が終わっていないのか聞きたい。また、検討はいつまでに終わるのか。</p> <p>(3) 10款6項4目体育施設整備事業中、(仮称)上越市体操アリーナ(上越市立上越体操場)本体工事などについて。工事は昨年度に着手され、現在も進められているが、大潟区地域協議会などで要望のあった交通環境整備などについては、どのように検討されているのか。</p> <p>3. 議案第105号 平成30年度上越市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 昨年度から、地域包括支援センターについては、新たな体制のなかで運営され、「多角的な視点で相談者への支援を行うことができた」「医療連携がスムーズに行えるようになった」などの評価となっているが、問題点や課題はなかったのか。</p> <p>4. 議案第122号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について</p> <p>(1) 条例制定にあたっての基本的考えについて聞きたい。</p> <p>(2) 会計年度任用職員制度の導入は、非正規職員に対して、法的な根拠を与え非正規雇用を合法化し、非正規化を進めることにつながりかねないと思</p>
--------------------------------	---

	<p>うが、この点についての認識はどうか。</p> <p>(3) これまでも正規職員との「同一労働同一賃金」に向けた自治体の努力を続けること、正規職員と同様の業務を行っている非正規雇用職員を正規化することを求めてきたが、今回の条例制定によって、これらに対応できるのか。</p>
<p>6. 渡邊 隆 (創風)</p>	<p>1. 議案第99号 平成30年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 一般財源の根幹をなす市税は、前年度と比べ0.4%増収となり、現年課税分の市民税のうち、個人市民税が総所得金額及び譲渡所得の増加で1.1%の増、法人市民税での法人税割が27%の増収となった。この増収の要因を聞きたい。また、今後の市税収入の傾向についてどう考えているかも聞きたい。</p> <p>(2) 地方創生に関し、「上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げる第四の「U I Jターンとまちの拠点性」の分野において、当市への移住・定住を促進するため、東京都内で開催された移住イベント等での成果についてどのように考えているか。</p> <p>(3) 総合戦略をけん引する二つのテーマの一つ、「城下町高田の歴史・文化をいかした街の再生」の取り組みにおいて、仲町エリアにおける昼間の賑わい創出と周遊を促進する取り組みを支援したが、その効果についてどのように分析しているか。</p> <p>(4) 合併の特例措置の終了に伴い減収となる普通交付税の影響を見据え、入札差金等の留保などにより、平成30年度末の財政調整基金残高を104億円確保したが、今後の収支の均衡には課題・改善点もあると思われる。その収支の均衡のため、特定財源の有効活用、入札差金等の留保などを徹底するとあるが、これらの点について、どのように取り組むのか聞きたい。</p> <p>2. 議案第115号 令和元年度上越市一般会計補正予算(第3号)について</p> <p>(1) 設備の老朽化が著しい、ゆきだるま温泉「雪の湯」を休止とし隣接する「温泉の宿 久比岐野」の浴室を拡張するとして実施設計委託料が増額されているが、どのような利用動向を考えての結果なのか。</p>